

## ごあいさつ



本校は、「自主・友愛・創造」の校訓のもと、「夢と志を持ち、豊かな感性と創造力に満ちた活力ある生徒の育成」を教育目標として、学業・部活動・諸行事・挨拶を含む礼儀等に全力で取り組む生徒の育成を目指して、教育活動を展開しています。

教育研究においては、アクション・リサーチ（RPDCマネジメントサイクル）の手法を取り入れ、平成16年度から校内で学力分析を踏まえた指導方法の工夫・改善を図る取組みを全教科でスタートさせました。その後、平成17・18年度広島県「ことばの教育」パイロット校（タイプⅡ）、平成19・20年度広島県「ことばの教育」ステップ・アップ事業研究地域拠点校の指定を受け、全ての教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動に「言語技術」を取り入れ、生徒の思考力や表現力の育成をめざした取組みを続けています。

とりわけ、言語技術や書く活動を取り入れた本校オリジナルの授業モデルである「世羅中学校授業モデル」を踏まえた授業実践をすべての教科で行い、生徒の思考力や論理的な表現力の育成を図っています。こうしたこれまでの本校の具体的な実践については、研究成果の蓄積を図るべく指導事例集Ⅰ～Ⅴにまとめるとともに、内外への事例集の提供等を通して研究成果の発信と還元を図ってきております。

今年度は、中学校学力向上対策事業の学力向上研究推進地域（タイプⅠ）指定の最終年度を迎えます。町内の甲山中学校、世羅西中学校と連携して進めてきた、国語科・数学科・英語科における学力分析に基づく指導方法の工夫・改善や評価問題の作成など、三教科の学力向上に向けた実践的な研究の手法を他教科にも積極的に取り入れながら、全ての教科で学力分析に基づく指導方法の工夫・改善と活用力の育成を見取る検証方法の在り方など、学習評価の充実にも努め、引き続いて横断的・総合的に学力向上の取組みを図ってまいりたいと考えております。

今後も、本校がこれまで取り組んできた全ての教科で活用力を高める「各教科授業モデル」や家庭学習の一層の充実を図りながら、「基礎・基本」の習得と活用力の育成を基盤に、これからのグローバル社会で活躍できる人材に求められる探究的な力、創造的な力を子どもたちに育んでいくべく、職員一同、誠心誠意、全力を尽くして取り組んでいく所存です。

皆様には、今年度もこれまで同様に、本校教育の充実・発展のためにご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

世羅町立世羅中学校 校長 下森 憲治